

JUNGIDO

滋賀県立膳所高等学校同窓会報

遵義堂

VOL.36

URL: <http://www.dosokai.link/zezekoukou/> E-mail: zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp
発行人/大崎悦男 発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会 大津市膳所 2-11-1 TEL077-524-4295 FAX077-524-1732
発行日/平成31年4月20日 編集人/広報部会・卯田重子

巻頭エッセー	1
2019年度総会のお知らせ	1
創立120周年記念事業を終えて	2
班活動の今昔	3
周年同窓会報告	4-5
記念同窓会報告	5
周年記念同窓会 予告	6
同窓会事業のご案内・報告	6
石鹿文庫	6
同窓会会費納入方法変更の検討について	6
会務・会計報告・総会提出議案	7
膳所高NEWS	8

巻頭エッセー

創立120周年の歴史を礎に 更なる深化と発展を目指して

校長 小島 秀 樹



私は、平成30年4月、創立120周年を迎えた記念すべき年に校長として着任しました。輝かしい歴史と伝統を誇る膳所高等学校に勤務させていただき、身の引き締まる思いで一日一日を過ごし、早一年が過ぎました。この間、同窓会の皆様方には本校の教育活動の推進のため、物心両面にわたるご支援・ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

本校は、明治31年（1898年）に滋賀県第二尋常中学校として設立され、同年5月13日仮校舎にて開校式が挙行されました。そして、明治34年（1901年）に膳所藩の藩校遵義堂跡地に新校舎が完成し、以来この地にて数多くの優れた人材を輩出してまいりました。卒業生は約40,000名を数え、国内外の各界でリーダーとして活躍されています。

躍られています。

そして平成30年（2018年）、本校は創立120周年の記念すべき年を迎えました。11月9日に挙行いたしました記念式典には、ご来賓をはじめ同窓会や旧職員の皆様、生徒、教職員あわせて1,800人余りが参加し、盛大に執り行いました。

また、記念事業として、すべてのホームルーム教室に電子黒板機能付きのプロジェクトアクトを設置していただきました。授業におけるICT活用の重要性が叫ばれる中、さまざまな授業で活用させていただき、より効果的な授業展開が可能となりました。このような一連の記念式典並びに記念事業の実施にあたりまして、同窓会の皆様方には、ひとかたならぬご尽力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。



平成最後の年 （新しい時代に向けて！）

膳所高等学校同窓会会長 大崎 悦男

会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。母校創立120周年の平成最後の年は、野球班甲子園出場が開幕しました。純白の「Z」の伝統のユニホームが、40年（選抜では59年）ぶりに甲子園で躍動し、応援でも優秀賞に輝くという快挙を成し遂げてくれました。創立記念事業も、5月の同窓会記念総会、11月の琵琶湖ホールでの記念式典と盛大に執り行われました。さらに昭和30年卒の長尾真先生が文化勲章を受章されるというニュースも入り、平成最後の年は母校や同窓会にとって歴史に残る輝かしい年となりました。

い年となりました。こうした中、会員の皆様には募金等で過分のご協力を賜り、心から感謝申し上げます。有難うございました。さて、バブル全盛と衰退期に始まった平成ですが、世間ではこの30年を振り返り、改革の時代などと言われていきます。30年前、日本経済は、向かうところ敵なしの時代でしたが、バブル崩壊後急激に落ち込み、「改革なくして成長なし」とあわてだし、世界情勢も中国の台頭等、この30年大きく変化してきました。

私は、この平成の歴史が、我が同窓会の30年と重なるような気がしてなりません。

本校は、平成28年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の3期目の指定を受け、先進的な理数系教育の実践に取り組んでおります。また、平成30年度から新たに、科学技術人材育成重点校の指定も受け、県内の6校と連携して本校でのこれまでの研究成果を普及、発展させるべく取り組みを進めて参りました。生徒には、偉大なる先輩に続くべく、「遵義力行」の校訓の精神を忘れることなく精進努力を重ねてもらいたいと思っております。そして、創立120周年を機会にさらに整った教育環境のもと、日常のハイレベルな授業や多彩な班活動、SSH事業の取り組みや特別活動などさまざまな学びを通して、夢の実現に向けてたくましく邁進してもらいたいと思っております。同時に我々教職員は、全力で生徒をサポートし、新しい時代をリードする有為な人材を育てて参りたいと考えております。

今後、伝統ある膳所高等学校同窓会の皆様は、ますますご活躍され発展されますことを心より祈念し、ご挨拶といたします。

本年度の総会は5月19日(日) 2019年度 総会のお知らせ

滋賀県立膳所高等学校同窓会の2019年度定例総会を左記の要領により開催いたします。私達の母校は昨年120周年を迎えました。更なる発展を願い、創立121年目の同窓会総会を開催いたします。会員の皆様のご出席をお願いいたします。

2019年度 定例総会

- 日時 2019年5月19日(日) 午前10時
(午前9時受付開始)
- 場所 琵琶湖ホテル
大津市浜町2-40
電話 077(524) 1511

総会式次第

- 議事 一、平成30年度会務報告・部会報告
- 一、平成30年度会計報告・会計監査報告
- 一、2019年度事業計画・予算審議
- 一、その他

- 講演 「大地震や巨大台風など激甚化する災害にどう備えるか? 滋賀県の防災対策」
講師 松野 克樹 氏
(膳所高25回 昭和52年卒業)

講師のプロフィール



昭和52年3月	膳所高等学校 卒業
昭和57年3月	大阪大学工学部 卒業
昭和57年4月	滋賀県 採用
平成26年4月	滋賀県土木交通部流域政策局長
平成29年4月	滋賀県防災危機管理監
平成31年3月	滋賀県 退職

講演の主旨

南海トラフ地震の発生や気候変動による巨大台風の襲来が懸念されている中、頻発化・激甚化する災害にどう備えるか、近年の災害事例を踏まえて滋賀県の防災対策について。

懇親会

午後1時からの懇親会に出席していただける方には、当日、総会受付時に懇親会費8,000円をいただきます。出席を申し込まれ、急用等によりやむを得ず欠席される方は早急に事務室に連絡をお願いします。無断および当日連絡の欠席の場合は、会費を申し受けます。

なお、同封のハガキは、総会・懇親会に出席の方、住所等に変更のある方のみハガキを返送下さい。

創立百二十周年 記念事業を 終えて

膳所高校は明治31年、膳所藩・藩校遵義堂跡地に滋賀県立第二尋常中学校として設立され、平成30年に創立百二十周年を迎えました。

平成28年度から創立120周年記念事業に向けて、学校・父母教師の会、同窓会3者の代表が協議し、「創立百二十周年記念事業実行委員会」を設け、「式典実行部会」「記念誌編集部会」「記念事業部会」「会計委員会」の4委員会を置き、協議を重ねてまいりました。

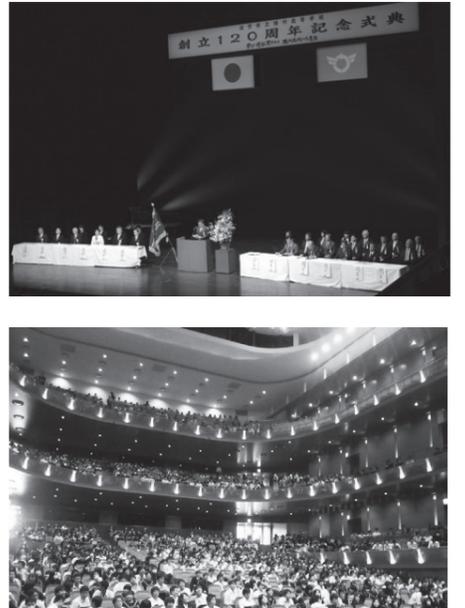
同窓生の皆様のご理解のもと、温かいご支援とご協力を賜り、成功裏に事業を終えることが出来ました。感謝申し上げます。各部会の取り組みを報告いたします。

式典実行部会

この部会は、加藤徳彦先生を部会長として式典の企画・立案・実施・芸術鑑賞、講演者の選定・立案・実施と大きく2つの事業の取りまとめを行いました。

- ・開催日時、会場については、平成30年(2018年)11月9日(金)
- ・滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールとなりました
- ・記念歌応援歌の制作は、
- ・募集対象は、現役生+OB
- ・審査委員長は、びわ湖ホール館長 山中隆様 様にお願いすること致しました。
- ・(公社)びわ湖芸術文化財団理事長
- ・結果 作詞 越智さゆり(平成30年3月卒)
- ・作曲 池内奏音(平成28年3月卒) となりました
- ・キャッチフレーズについては、
- ・夏休みの課題として頂き、審査は学校にて行って頂いた。
- ・結果「学び感動繋ぎゆけ 膳所高校の大遺暦」となりました。

- ・講演者については、同窓でもある三日月大造 知事をお願いすることとなりました。
- ・演目「未来に向けて膳所高校に望むこと」
- ・芸術鑑賞については、
- ・ピアノ独奏 河合唯氏(平成20年卒)
- ・トロンボーン独奏 矢巻正輝氏(平成3年卒)
- ・その他準備としては、
- ・式典招待者のリストUP・式典招待状発送
- ・会場設営等の協議
- ・タイムテーブルの検討
- ・生徒の行動計画、教員の行動計画等
- ・びわ湖ホール配席計画
- ・当日の運営について、
- ・受付準備
- ・案内・誘導係の配置



・会計(予算執行)
・予算額に対して、約70%の執行に止まりコスト面でも、協議を重ねてリーズナブルに終了することができた。

(山本勝義)

記念誌編集部会

この部会は、山田喜明先生を部会長として120周年記念誌について協議し、編纂してまいりました。

- ① 内容について
基本的に100年から120年間についてまとめました。近20年の歩み、生徒会・班活動、キャッチフレーズ・記念歌、特集。特集は次の通りです。
- ・創立百二十周年記念事業の概要、学校週5日制に伴う土曜日活用、開かれた学校づくりの推進、理数科の取り組みと特色ある学校づくり、主な大学合格状況、高大連携、SPAサイエンスハイスクール(SSH)の取り組み、新校舎起工、120周年へのPTA星霜10たび、同窓会
- ② 業者の選定
公募の結果アインズ株式会社のみ応募があったため、プレゼンを受け、業者を決定しました。
- その後、アインズからの記念誌作成の日程等の説明があり、表紙のデザインと紙質を決めました。オプションとして、動画コンテンツ(帯にQRコード)を付けることとしました。
- ③ 発行日と部数について
平成30年11月9日を発行日とし、記念式典で出席者に配布することとしました。発行部数は2,500部です。



百年史



創立120周年記念誌

(卯田重子)

記念事業部会報告

この部会は上品充朗先生を部会長として学校教育活動に活用いただける教育備品と記念事業に参加いただいた方々に記念としてお使いいただける記念品を選定し、皆さまのご寄付より購入させていただきました。ご寄付にご協力いただきました同窓会員の皆様には、紙面を借りてお礼申し上げます。教育備品としては以下の4点、プロジェクター一式は、記念式典前の9月に各学年の全33教室に設置が完了しました。設置と同時に授業で使用いただき、12月末時点では、60%の授業で活用いただいております。

【教育備品】

- ① 電子黒板機能付きプロジェクター 33台
- ② スプリング巻取り型マグネットスクリーン 33台
- ③ 書画カメラ 33台
- ④ 遮光カーテン 33台

記念品として、記念式典に参加いただいた方、ご寄付にご協力いただいた皆様にキャッチフレーズを印刷したシャープペンシル、クリアファイルを製作し、お渡しいたしました。母校の歴史と今を思い出していただく品となることを願っております。

【記念品】

- ⑤ 記念シャープペンシル 4,000本
- ⑥ 記念クリアファイル 4,000枚

(護法良憲)



【収入の部】

(単位 円)

項目	金額	備考
募金(一般)	17,565,280	
募金(環境整備)	11,207,000	
拠出金	1,616,953	父母教師の会より(芸術鑑賞費として)
雑収入(一般)	170	受取利息
雑収入(環境整備)	18	
合計	30,389,421	

【支出の部】

項目	金額	備考
記念式典費	1,677,917	会場使用料(びわ湖ホール)、看板・式典パンフレット製作費他
記念行事費	623,658	芸術鑑賞演奏者謝礼、記念歌歌詞・作曲家謝礼等
記念誌編集費	2,657,340	記念誌作成・動画撮影編集費
記念事業費	17,140,936	プロジェクター・書画カメラ・スクリーン・遮光カーテン各33台、記念品(シャープペン、クリアファイル)トレーニング機器更新
事務費(一般)	1,291,814	募金振込用紙・案内状印刷費、郵送料、募金振込手数料他
事務費(環境整備)	556,357	〃
合計	23,948,022	

差引現在残高 6,441,399円

会計委員会報告
会計委員会では、これまで4回の会計委員会を開催し、記念事業のための募金に加え、寄附金控除対象募金も合わせた決算を行ったところです。(中西敦子)

創立百二十周年事業会計報告 (H31・3・19現在)

母校の歴史と高校生時代、青春の思い出に!!

「創立120周年記念誌 平成10年度〜平成30年度」
昨年5月に、母校は創立120周年を迎えこれを記念して、100周年式典後の20年間の歴史を記した、記念誌を発行いたしました。

「百年史 遵義の桜、咲いて100年」2,500円
平成10年の創立100周年の時に発行された100周年の記念誌に残部があります。

「会員名簿」の発行について

昨年10月に、「会員名簿 平成30年(創立百二十周年記念)」を発行しました。4,000円
名簿を希望の方の募集は終わりましたが、事務室において残部があります。

ご購入を希望される方は、同窓会事務室までご連絡下さい。(TEL077・524・4295)
平日の午後1時〜5時です。

班活動の今昔

音楽班合唱部

合唱部参与 福井 浩

全国的には合唱に取り組み高校生は多いのだが、滋賀県では現在部員が少人数の高校が多くなっている。本校では二十数年前、ちょうど私が前回本校に勤務していたころに現在につながる合唱メンバーが集まり、少しずつ活動を始めていた。旧校舎の図書館棟の下方にあったかなり狭くて外光が入りにくい選択教室で普段活動し、コンクールなどの前には3階の音楽室で汗をかきながら練習をしていたことを懐かしく思い出す。その当時、NHK全国音楽コンクール、通称Nコン、にも挑戦し、県大会で金賞をとり、まだ完成後間もないNHK大阪ホールで演奏したこともあった。県合唱祭でも入賞している。

その後、少人数になったこともあるが、県合同合唱で全国総文などに出演したり、施設で依頼演奏をしたり、また、県合唱祭、アンサンブルコンテスト全国大会にも出場し、入賞することもあった。もちろん、校内でも文化祭やクリスマスコンサートにも取り組み好評を得ている。

2018年度は、120周年、Nコン、全日本合唱コンクール、関西、アンコン全国、合唱祭そして依頼演奏などと、県内合同で全国総文、近畿総文と、特に多忙な中での活動となった。120周年記念では、記念歌の録音、同窓会総会で卒業生の方々の前で記念歌の披露という晴れがましい場面もあり、また、びわ湖ホールでの式典でも校歌を含めステージ上で演奏するといった湖風祭以外の学校行事に出演する貴重な機会を得ることが出来たのは、部員にとって大きな意味があったと思う。

コンクールでは、特にNコンはテレビで一部放映され、また全日本（合唱連盟主催）コンでは、新聞に取材された記事が載ったこともあり、合唱関係者の方々から応援のメッセージを頂いたこともあった。結果は、いずれも県大会金賞受賞で県代表として近畿（関西）大会にコマを進め、銅賞入賞となった。アンサンブルコンテストについては、昨年度に続き県代表となり、3月22日開催の全国大会（福島県）に出演した。高いレベルの大会で、そのために日々練習を積み重ねた。

この多忙な一年を1、2、3年生合わせて女子10名で、また1、2年生の8名で出演・出場したこともあった。少人数ではあるが、一人一人が日々の積み重ねにより実力を上げていき乗り切ることが出来たのは言うまでもない。今後も皆さまからの応援よろしくお願ひします。



ボート班

ボート班参与 湯 真彦

ボート班は、現在班員59名（男子38名、女子21名）で、週6日、御殿浜の艇庫・県立琵琶湖漕艇場にて活動しています。班員は、近年増加傾向にあり、この59名という数字も1、2年生の人数です。昨年度（平成30年度）の朝日レガッタの時期には、1、3年生を合わせると90名を超え、毎日のミーティングの際には、艇庫に全員が入り切れないほど、たくさんの班員が活動に励んでおりました。

さて、昨年度（平成30年度）には、本班は創部120周年の節目を迎え、班員はより一層日々の活動に励んでおります。8月に愛知県で開催されましたインターハイにおきまして、女子舵手付きクワドルブルが準々決勝3位、男子ダブルスカルが準々決勝5位という結果を残しました。最終日に残ることはできなかったものの、一人ひとりが高い志を持って最後まで全力を出し切っていた姿には、観戦されていた他県の方々の心を動かすものがあったように思います。また、3年生が引退した後の11月には、全国選抜ボート大会近畿予選が大阪で行われ、男子舵手付きクワドルブル並びに女子舵手付きクワドルブルがそれぞれ男女で優勝し、近畿第一代表として2019年3月に静岡で開催される本戦に出場することが決定いたしました。本稿が発行される頃には、本戦大会の結果が出ていることと思います。

班活動では、大会や日々の練習に励むことはもちろんのこと、平成30年度では、「第27回全国市町村交流レガッタ大津大会」や「BIWAKO湖（うみ）フェス2018」といった地元で開催される行事の運営スタッフとして参加するなど、地域での活動にも積極的に取り組んでいます。

これからのボート班の目標として、全国選抜ボート大会並びに、インターハイでの決勝進出、優勝を目指してより一層班活動を活発にしていこうと考えています。しかし、その反面、班員数の増加に伴い班員一人ひとりが艇に乗って練習できないことや艇の老朽化などは大きな課題となっております。

ボート競技の特性上、日々の乗艇練習が行いやすい環境にあることが練習の効率化につながることはいうまでもありません。

皆さまには平素より多大なご支援をいただき、大変感謝しておりますが、このような状況をご理解いただきまして、今後とも更にあたたかいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



バスケットボール班有志OB・OG会

須田武志先生を囲む会2018年 法務大臣賞受賞のお祝い

須田武志先生（昭34卒）は、母校に昭和41年に就任され、平成6年までの長きにわたりバスケットボール班を指導された。この須田先生に指導を受けた昭和42、52年卒のOB・OG、32名が参加して、平成30年8月4日（土）午後1時から猛暑の中、草津市のカフエバル「フイオーレ」に於いて、今年で2回目となる「須田武志先生を囲む会」を開催した。

須田先生は膳所高を退職後、平成14年から15年間、保護司として罪を犯した人々の立ち直りを支援する更生保護と犯罪予防に尽力され、この功労を称えて平成29年9月28日に法務大臣賞を受賞された。今回は、このお祝いも兼ねて、吉田光男さん（昭47卒）が代表幹事となつて、平井和博さん（昭46卒）と北川（金綱）恵子さん（昭46卒）のお世話を頂き、開催の運びとなった。

会は、滋賀県バスケットボール協会の会長を務める宇野正信さん（昭45卒）の進行で、法務大臣賞受賞のお祝いとして花束と記念品を高木（角田）映子さん（昭45卒）と井狩雅文さん（昭45卒）からお渡しし、須田先生よりご挨拶を頂いた。続いて、今回から参加したOB・OGの自己紹介と指導を受けた当時の思い出話を語っていただいた。また、各学年の代表者から須田先生へのお祝いの言葉が贈られた。

今回の参加者は「須田武志バスケットボール」の創成期のメンバーに当たり、男子は、昭和44年からの9年連続のインターハイ出場に関わった前半のメンバーが中心であった。滋賀県では常にトップの座を維持していたが、はじめは近畿や全国ではなかなか良い成績を収められなかった。しかし、須田先生の「頭を使え」というシンキングバスケットボールが実り、近畿大会で初優勝、全国ではベスト8に入る成績を収めるまでになった。

その頃の女子もインターハイに出場できるくらいの実力があつたが、とにかくメンバーが少なく、試合で退場者が続出した時にはマネージャーがコートに立ったり、最後は2名でゲームをしたというエピソードは、今でも語り継がれている。現在も女性陣のパワーは健在で、この会を十分に盛り上げて頂いた。

そして、須田先生は現在、再び母校のバスケットボール班の指導に当たられている。

今回と第1回の模様は膳所高同窓会ホームページ/支部組織・クラブOB会のコーナーに画像を添付して掲載してあるので、ご覧いただきたい。次回は2019年7月27日（土）午後開催（会場：びわ湖大津プリンスホテル）する予定である。

なお、本元の「バスケットボール班OB・OG会」は、例年お正月に交流試合、総会および懇親会を行っている。こちらの方にも是非、参加願ひたい。

尾松素樹（昭47卒） 記



ラグビー班

膳所高ラグビー班創部70周年記念式典挙行

ラグビー班OB倶楽部会長 松田 剛

2018年4月29日、膳所高校グラウンドにて現役チームの記念試合、びわ湖大津プリンスホテルにて創立70周年式典が盛況に執り行われました。

読売テレビ放送の但馬様（H19卒）による膳所高校ラグビー班史の素晴らしい映像を皮切りに、トヨタ自動車部長田中義和様（S55卒）の記念講話、歴代顧問の北居晴彦先生、高田留治先生からのご祝辞、2017年セブンス全国大会出場当時の主将阪口健也様、副将松田佳樹様の御礼挨拶、現役メンバーのご紹介など楽しいひとときを過ごし、クラブ創立初の女子プレイヤーであるロス・スミス絵梨花様の紹介では、今なお進取の気性を感じました。

本年のワールドカップ日本開催にむけ、女子ラグビーはもとよりユニオンラグビーがさらに盛り上がる中、現役チームが県大会を勝ち抜き、花園での一勝をもぎ取ることを楽しみにしております。日々練習に励んでいる現役チームへの激励に是非グラウンドまで足をお運びくださいませ。



吹奏楽班第8回OB合同演奏会

日時 2019年7月14日（日）13時30分開場・14時開演
場所 大津市民会館
入場料 700円（全席自由・当日券は12時30分より販売）
指揮者 中嶋民雄、前畑聡、北山佳史
主な演目
狂詩曲「スペイン」、歌劇「カルメン」より、ルパン三世メドレー、ミュージカル「キャッツ」よりメモリー、オペラ座の怪人 他
お問い合わせ 第8回OB合同演奏会実行委員会
<zobob_8thconcert@yahoo.co.jp>

周年同窓会

60周年記念同窓会

(膳所高6回 昭和33年卒業)

1939年生まれの私たちは平成30年6月8日(金)琵琶湖ホテルで「膳六会」卒業60周年・傘寿記念同窓会を開催しました。当日参加された方は、現在もご健在の恩師・村田辰夫先生を含めて百十五名でした。写真撮影の後、「校歌」斉唱、物故者追悼(恩師8名、卒業生103名、村田先生のご挨拶・乾杯の発声の後、会食・歓談に入りました。集まった仲間はそれぞれが築いてこられた業績や経験が豊富ですが、今回は高校生当時の十八歳に立ち戻り、青春時代を懐かしみ、和気藹々と話し合い、旧交をあたためました。その間、ビンゴゲームなどに打ち興じました。「琵琶湖周航の歌」斉唱の後、同窓会を閉じることとなりました。閉会のあいさつで、向後3年以内に再会することを約して解散しました。

(浅田幸作)



55周年記念同窓会

(膳所高11回 昭和38年卒業)

昨年、11月7日(水)12時から琵琶湖ホテル5F「琵琶湖の間」に於いて出席者84名で記念同窓会を開催。当日、雲一つない晴天・一面に織りなす鮮やかな琵琶湖の情景が、祝宴に花添え。案内受付(伊吹敏明君他数名)が始まり、各地からの来津・久しぶりの再会に賑わった中、開会前、全員の元気な姿を大写真撮影。開宴幕開けは昔変わらぬ巧妙な荒谷雅美さんの司会でスタート。まず、在りし日の担任恩師・旧友の雄姿を偲び、黙禱。旧校舍映像(監修小笠原勇君)にて校歌合唱。北井征暁実行委員長から品位ある実直な開会挨拶。そして、礼を述べ、司会者と共に各卓を廻り全参加者をご紹介。それぞれが微笑ましく好演。盛り上がった所、遠方から8名の友を壇上に迎え、晴やかに鏡開き(祝樽提供笑四季酒造竹嶋健三君)。代表して福谷充剛君が高らかに乾杯のご発声。滞りなく式典は終了、和やかに食事・歓談の宴会へと移った。各卓とも話の輪が広がり、酒を酌みかわすなど活況。なかで、クラス毎写真で、皆さんの凛々しく温和な姿をゲット。頃を見て、母校・

選抜甲子園出場で幕開けた年、我ら有志がバス1台(40数名)で参加した応援ツアーを紹介。総勢バス36台、5,500人の大応援団、その臨場感あるDVD(撮影武内正明君)を上映し、応援グッズを身にまとった元野球部石塚勝巳君、平野十九蔵君等より熱き説明。「Z」の文字が揺れ動いた壮観さ、一後輩からの「勇気と感動」ありがとう」に感激。ほどなくして、前委員長の小笠原勇君より今年、栄誉叙勲の高田善明君を紹介。厳肅な雰囲気醸し出し大拍手。最後に、「私たちの友情・絆が未永く続け」と全員で大きな輪を作り、肩を寄せ合い「琵琶湖周航の歌」(監修武内正明君)を声高らかに歌い上げた。余韻を残し、奥田英行君がその輪に入り、三本締め(中締め)するも興奮冷めやらぬ。あつという間の3時間、本当に楽しいひと時で大盛会となった。「思い出の記念写真集」送付を約し、終演。皆さん健康に留意され、五年後、元気な姿で再会しましょう。

(今回、不参加ながら近況メッセージをご送付頂きました方々、幹事として惜しみもなくご苦労いただいた10数名の方々に心より感謝申し上げます。)

(中村勉公)

50周年記念同窓会

(膳所高16回 昭和43年卒業)

みなさん、50周年記念の同窓会にご参加いただき、本当にありがとうございます。おかげで天候にも恵まれ、多くの方の参加者があり、ピアンカによる湖上の快適なクルージングで、同窓会を無事に遂行することができました。皆さんから「よかったよ」とのお言葉をたくさん頂戴して、我々幹事一同、達成感と満足感で喜んでおります。先生方におかれましては、お元気なお姿でこの会に参加して頂き本当に嬉しかったです。遠方から旅費と宿泊費を使ってお越しいただいた方々、心より感謝いたします。

私が開会の挨拶の時に言い足りなかったことは、我々同世代の仲間たちとこの半世紀という激動の時代を、見事に生き抜いてきたことへの喜びをみんなと一緒に味わいたいということでした。毎年のようにどんどん給料が上がっていくようなめざましい高度成長、家電製品や情報機器などのめまぐるしい技術革新、学生運動に始まる政治への関心と無気力、団塊世代の中での熾烈な競争社会、そして戦争を知らない世代。とんでもなく刺激的で良き時代を我々は生きてきたのだと思います。今回のクルージングのような平穏な航海だけではなかったと思います。我々には今の社会に少なくなつた活力と好奇心と探究心があつたと思えます。だからこそこれからは壮絶な戦士たちと共に過去を振り返り、語り合い、残りの人生をより有意義なものにして



いきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

3時間の琵琶湖クルーズがあつたという間だったという声を多く頂戴しました。それほど皆さんが、昔の仲間との楽しい充実した時間を過ごしていただいたのだと思います。我々のこれからは、家族と、地域と、昔の仲間たちとの交流が第一です。この会をきっかけに、今後ますます膳所高の同窓としての横のつながり(絆)を広げていただければ、幹事としてこれほどありがたいことはありません。最後になりましたが、会のお世話をさせて頂いた幹事の仲間の方々。見事なチームワークでこの会を無事に終えることができました。よかったです。本当にありがとうございます。

また2年後に皆さんとお会いできることを楽しみにしております。それまでぜひ元気でいて下さい。また、楽しい会話をし、美味しい酒を酌み交わしたいものです。このことを次期幹事にも申し送りたいと思います。皆さん、本当にありがとうございます。

(前川忠嗣)

45周年記念同窓会

(膳所高21回 昭和48年卒業)

2018(平成30)年12月2日(日)曜日、11時から、琵琶湖汽船豪華遊覧船「ピアンカ」を貸し切り開催致しました。(104名参加)

乗船前に、棧橋にて全員(?)で、立岡功成君(プロカメラマン)による、集合写真撮影を行い、「ピアンカ」3階「Cloud」にて着席後、高田満彦君と、玉置桃子さんの楽しい進行でスタート致しました。

世話人を代表して、中野信雄君の挨拶と乾杯の後、和やかに歓談が始まりました。体調不良等で、恩師の先生のご臨席が頂けなかったのは大変残念でした。

中谷仁彦君のアトラクション(ギター弾き語り)あり、酒も入り盛り上がりしました。

閉会挨拶は、富波義明君が行い、お開きとなりましたが、ほとんど何方も帰らず、そのまま「ピアンカ」2階「Horizon」へ移動して、二次会となりました。

午前11時から午後3時30分までの長い間でしたが、天候にも恵まれ4階デッキにて琵琶湖のクルーズを楽



しむ者、お酒を呑み続ける者、一生懸命語り続ける者など、全員楽しい思い出を胸に帰路家路へとなりました。(川戸良幸社長 大変楽しい盛大な同窓会となりました。)

(山本勝義)

40周年記念同窓会

(膳所高26回 昭和53年卒業)

春には野球部が甲子園に21世紀枠で出場、秋には創立120周年記念式典が開催されるおめでたい年の平成30年8月11日琵琶湖ホテルにて40周年記念同窓会を開催いたしました。恩師の先生方5名、同級生127名が参加、卒業以来6回目、前回は5年ぶりの同窓会になりました。

写真撮影、物故者への黙禱、開会、西岡宏堂先生のご挨拶、乾杯と進み食事と歓談がはじまりました。毎回参加の同級生も多数いますが40周年にして初参加のお顔もありました。恒例になりつつあるクラスごとにステージに上がり全員が一人ずつの近況報告ではお顔と名前がわかっていろいろなお話を聞くことができました。還暦目前で第二の職場での仕事をスタートさせていたり老後を考えて住まいをかえたりしていますが話しはじめると懐かしい高校時代に戻って大変楽しいひとときでした。

全員で校歌を歌って閉会となりましたが名残惜しくホテル内での二次会にも88名が参加して賑やかに夜が更けていきました。次回同窓会は5年後、卒業45周年を予定しています。より多くの同級生に参加していただきますようよろしくお願いいたします。

(秋山洋子)

30周年記念同窓会

(膳所高36回 昭和63年卒業)

「帯状の紙を180度捻って張り合わせたメビウスの輪を掲げ、はさみで帯の真ん中を割っていく。普通の輪だと二つに分かれてしまいが、捻りを加えると一つの大きな輪になる。50歳を前にして上手いかわらないこともあるだろう。その時は捻りを加えると良い」。冒頭ご来賓を代表して今も膳所高校で教鞭をとられている今西直隆先生のご祝辞の一節です。

平成30年11月24日(土)、青空広がる晩秋の湖畔、びわ湖大津プリンスホテルで昭和63年3月卒業生の30周年記念同窓会が開催されました。恩師10名をお招きして、同窓生108名が集い賑やかな宴となりました。記念写真を撮ったあと、開会宣言、懐かしい校歌を斉唱し、物故者に黙禱



を捧げました。ご祝辞を頂いた後、愛知酒造の女将・中村（旧姓園田）晃子さんが差し入れてくれた、日本酒「富鶴」の樽を景気よく鏡開きして、富波義明先生のご発声で乾杯。久しぶりの再会に加え、スクリーンに映し出される懐かしい映像や拡大した卒業アルバム、クラス写真がタイムマシンの役割をなし、会場内は一気に30年前にトリップ。羽野正孝先生、藤井敏先生、藤本志郎先生、池田修先生、川端（旧姓池田）元子先生、山崎敏先生、中川淳先生、竹内宗男先生からお言葉を頂戴したあとは、1年・2年のクラスや班：とあちこちで集合写真。正午に開演してあつと言う間に3時間が過ぎました。最後は全員で肩を組んで、捻りを加えた（？）「輪」になり恒例の琵琶湖周航歌を締めました。2次会は38階トップオブオオツ。暮れていく湖畔の景色を眺めながら話は尽きることなく…。

次回35周年記念同窓会は新元号5年（2023年）11月25日（土）12時開演です。ご予約ください。

（村木康弘）



20周年記念同窓会

（膳所高47回 平成11年卒業）

1月2日にびわ湖大津プリンスホテルにおいて、卒業20周年記念同窓会を開催しました。事前にSNS等で連絡を取り合い、また同窓会のお力もお借りすることで、同窓生87人恩師5人が集いました。学年全体の同窓会は卒業以来初めてのため、開始直後こそ「3年時は何組？お名前は？」とごちないものでしたが、時間とともに記憶もよみがえり、昔の調子に戻ることができました。その後は卒業アルバムとお互いを見比べたり近況を話したりして、とても盛り上がりました。お越しいただいた先生方からの一言でも、昔の記憶がよみがえりましたね。寄付大事ですよ！次は5年後と、再会を誓い散会となりました。LINEやFacebookでも同窓会のグループを作成しています。5年後はよりSNSを駆使したいと思えますので、今回欠席された方はまず登録を！そして、次回はさらに盛大な会になることを期待します。

（月形（山岡）鈴香）



10周年記念同窓会

（膳所高57回 平成21年卒業）

1月3日、大津プリンスホテルにて卒業10周年同窓会を開催いたしました。各クラスから1名ずつ選出されていた同窓会委員も、大阪、名古屋、東京と全国に散らばっていたため、「関西組」が会場の予約や打ち合わせ担当、「関東組」が当日の進行や情報機器関連の担当と役割分担をし、LINEで共有し合っただけで準備を進めました。当日は7名の先生方、143名の同級生がプリンスホテルに集い、開始時刻の前からロビーには笑い声が溢れます。440名の同級生も日本全国どころか海外に転居している方もいるため、当日の参加人数が全く読めませんでした。今回初めて、決済を取り入れ、振り込みの手間が軽減されプラスに働いたのかもしれない。

28歳にもなると、仕事に対しても自分や家族の生活に対しても責任が生まれ、希望を持ちながらも悩み続ける時期にあると思います。大切な時期であるからこそ、同窓会を経て、人との繋がりを大事にしていきたいと願っています。

（中澤愛実）



5周年記念同窓会

（膳所高62回 平成26年卒業）

平成31年1月2日に平成26年卒の卒業5周年記念同窓会をびわ湖大津プリンスホテルで開催しました。年始早々という日程の中、6名の先生方を含む246名の方に参加いただきました。

前回の成人記念同窓会から約3年。前回は多くの生徒が学生でしたが、今回は社会人になった人もちらほらいることもあり、幾分会場の雰囲気も大人びたように感じられました。3年5組の担任であった辰巳先生に乾杯のご発声をいただきました。久しぶりに会う友人や先生方との再会というところで、思い出話に花が咲きます。5年という年月が経ちましたが、まるでつ



記念同窓会

い最近のことを話しているかのように感じられました。まだまだ話したい事も尽きない中で、集合写真を撮って閉会となりました。私たちの代の次回の同窓会は5年後を予定しています。10周年記念同窓会にも一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

（今村大智）

尚歯会

（膳所中39回 昭和16年卒業）

平成30年10月29日 於あみ定
久しぶり瀬田川岸での集いとなつた。唐橋はいにしえより陸上交通の要衝のみならず水上交通としても開けた。



あみ定から上船、汽船通学生は膳所港で下船登校した。

この様な時から今日まで七・八十年の想い出が甦り、喜怒哀楽のみではなく、生死の境を迷い耐え抜き今日あるを喜び話等話題は極めて豊富で深味がありとぎれることはない。

いつしか太陽も西に傾き、再会を約してお開きとした。

（長谷川良治）

関東膳所高26会

（大津高2回 昭和26年卒業）

首都圏に在住している大津高2回（昭和26年卒）の我々は、毎年11月第1土曜日に関東膳所高26会と称して同窓会を開いています。昭和30年代中頃に自然発生的に発足したこの会は爾来60余年途切れることなく今日に至っています。

平成30年11月3日、有名ブランド店やおしゃれなレストランが立ち並ぶ賑やかな表参道に面する南国酒家で同窓会を開催しました。今回は14名の出席でした。数年前は20数名の出席でしたが、亡くなりまた出席したい気持ちはあるものの体調不良や歩行困難という理由で年々少なくなり淋しい限りです。



成人式同窓会

（膳所高65回 平成29年卒業）

1年間お互いの無事を祝して乾杯。静岡から出席の千本木君から母校出身の長尾真氏の文化勲章受賞の披露があり、母校の誇りと皆で祝いました。平尾さんの9月、10日間のカナダ東部旅行の楽しい思い出話を拝聴、また大津の岡田和夫君が送ってくれた母校創立120周年記念会員名簿の物故者欄のプリントをみて、一同あまりにも物故者の多いのに驚くと同時に、在りし日の旧友を偲び思い出話に花が咲きました。最後に磯谷君の朗々と吟ずる「近江八景」に故郷の風景を思い浮かべながら来年の再会を約して散会しました。

（黒川 孟）



関東膳所高26会 原宿 南国酒家 2018年11月3日

周年記念同窓会 予告

東二会65周年記念同窓会

・日時 2019年11月11日(月) 午前11時30分受付開始
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル「比較」
 ・会費 10,000円(予定)
 ・連絡先 蒲生容江(T E L O 7 7 . 5 2 3 . 2 4 3 5)
 ・Mail: MXXA03362@nifty.com

55周年記念同窓会

・日時 2019年7月7日(日) 午前11時30分
 ・場所 琵琶湖ホテル宴会場「ローズ」
 ・会費 12,000円
 ・連絡先 柴山 茂(T E L O 9 0 . 8 3 6 6 . 4 0 0 1)

50周年記念同窓会

・日時 2019年6月1日(土)
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・会費 10,000円
 ・連絡先 竺 正人(T E L O 9 0 . 9 5 4 5 . 5 9 0 1)

47周年記念同窓会

・日時 2019年11月3日(日)
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・連絡先 大沼康三(T E L O 9 0 . 5 0 4 9 . 0 5 7 8)
 ・Mail: kozoer-315@docomo.ne.jp

45周年記念同窓会

・日時 2019年8月12日(月・祝)
 ・場所 琵琶湖ホテル 3F 瑞璃の間
 ・会費 一次会 10,000円
 ・連絡先 國松(上田)完二(T E L O 9 0 . 4 2 9 8 . 3 4 4 7)
 ・Mail: sosy@i.softbank.jp

40周年記念同窓会

・日時 2019年5月5日(日)
 ・場所 琵琶湖ホテル
 ・連絡先 大田伊久雄(T E L O 9 0 . 1 6 7 5 . 4 5 6 2)
 ・Mail: ikuota@agr.u-yuikyuu.ac.jp

35周年記念同窓会

・日時 2020年1月2日(木)
 ・11時受付開始 11時30分開宴 二次会あり
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・コンベンションホール淡海
 ・会費 一次会9,000円 二次会3,000円
 ・連絡先 紀伊照幸(T E L O 9 0 . 3 6 7 5 . 2 0 7 8)
 ・Mail: kprojectki@gmail.com

30周年記念同窓会

・日時 2020年1月4日(土) 13時
 ・場所 未定(会場はおつて郵送ならびにSNS等で)

・連絡先 林 潤(T E L O 9 0 . 8 4 9 5 . 3 3 9 1)
 ・Mail: trlops@st7.so-net.ne.jp

25周年記念同窓会

・日時 2020年1月3日(金)
 ・場所 琵琶湖ホテル(予定)
 ・連絡先 稲垣瑞穂(T E L O 9 0 . 8 5 3 4 . 8 5 3 8)
 ・Mail: mizuho@icloud.com

15周年記念同窓会

・日時 2020年1月3日(金) 18時
 ・場所 ホテルグランヴィア京都(京都駅直結)
 ・5周年記念同窓会 (膳所高53回 平成17年卒業)

5周年記念同窓会

・日時 2020年1月2日(木)
 ・場所 ホテルグランヴィア京都(予定)
 ・連絡先 猪飼更紗(T E L O 8 0 . 1 4 6 9 . 3 7 9 1)

新成人記念同窓会

・日時 2020年1月13日(月) 13時開始(12時受付開始)
 ・場所 びわ湖大津プリンスホテル
 ・会費 10,000円(余興代500円別途必要)
 ・連絡先 西居明花(T E L O 9 0 . 1 1 5 6 . 3 6 9 9)

関東膳所高同窓会

・日時 2019年6月8日(土) 午後3時30分受付
 ・場所 シナガワグース3階
 ・会費 8,000円(学生半額)
 ・定員 180名(先着順)
 ・参加申込フォーム <https://goo.gl/jIMfTK>
 ・連絡先 稗方一司
 ・Mail: kantozeze@gmail.com

同窓会事業のご案内

第24回(2019年度)ゴルフコンペ

・と き 2019年9月16日(月・祝)
 ・と ころ メイプルヒルズゴルフクラブ 甲賀市信楽町田代65
 ・TEL0748・82・3800
 ・スタート時間 8時00分アウト・イン同時スタート
 ・申込×切後各自あて集合時間及び組み合わせ表を追って通知します。
 ・ダブルペリア方式による18ホールストロークプレー
 ・当日会費 18,000円(予定)但しメンバー・シニアは別料金
 ・募集人数 30組 150名
 ・定員に達し次第×切とします。

第5回会員交流会

・日 時 2019年 7月6日(土曜日)
 ・場 所 JR大津駅 8時15分集合午後6時帰着予定
 ・参加費 6,000円(当日徴収します)
 ・申込×切 6月20日(木)
 ・申込先 同窓会事務局(T E L O 7 7 . 5 2 4 . 4 2 9 5)
 ・定員に達し次第×切とします。

事業部会報告

素敵な出会いと学びの場

第4回会員交流会

「わくわく関西国際空港見学と堺市探訪」

まずは関空の展望ホール。次は古風な漁港の青空市場。昼食は海鮮の会席に大満足。
 午後は堺市役所21階の360度見渡せる展望ロビー。ガイドの方から堺は和泉と摂津と河内の三国の境であることや、生駒山とそこを通る街道があること、また大仙古墳(いわゆる仁徳天皇陵)はじめ百舌鳥古墳群のことなどの説明を受け、遙か昔の様子を思い浮かべました。最後の「堺利品の杜」は千利休と与謝野晶子の記念館です。時代の最先端を見、また古に思いをはせる、心に残る1日になりました。



関西国際空港見学ツアーにて 2018/07/06

第23回 ゴルフコンペ(参加132名) 平成30年9月17日(月・祝)

9月17日(月・祝)、メイプルヒルズゴルフクラブにて、第23回膳所高同窓会ゴルフコンペが開催されました。午後には少し雨がぱらついたものの、まずまずの天候のゴルフ日和で、37組132名の皆様にご参加いただきました。

同窓会会費納入方法変更の検討について

同総会会費をお納めいただく方法について、現在検討をいたしております。
 同窓会会則では、旧膳所中学校に始まり現在の膳所高等学校の卒業生を通常会員と定め、「通常会員は定められた会費を納入しなければならない」と規定しています。
 年会費の納入方法は、現在、①毎年2,000円、②5年まとめて前納10,000円の2種類とし、皆々まからの振込みをいただいています。事務局では住所の判明している同窓生に対し、広報紙「JUNGDO」と共に振込用紙を同封し、送付させていただいておりますが、多忙な日常生活の中での振込み手続きの煩わしさから、ついつい未納となる方も多い状況です。その結果、65歳以上の方の納付率が20%以上に対し、現役世代の方の納付率が5%に満たない結果となり、今後の同窓会運営がむづかしくなっております。

同窓会では、その目的である、会員の相互親睦(総会周年同窓会補助)、教養の向上(総会での講演会、日帰り研修、情報の発信(広報の発行、ホームページの充実)、母校への支援(班活動、教育研修への補助、備品購入補助等)をおこない、その他の個別事業ではできるだけ参加者に実費負担をお願いしてまいりました。

この度根幹となる会費納入に対し、会員の時間を減らし、振込み経費、事務経費の低減も狙いとして、「終身会費制」の追加を検討しております。

主な結果
 個人優勝 岡野幸信様(昭41卒)
 準優勝 中山次規様(昭48卒)
 三位 谷川尚己様(昭45卒)
 団体優勝 昭和41年卒
 準優勝 昭和48年卒
 三位 昭和46年卒

その他、ニアピン賞、ドラゴン賞、ベストグロス賞等総数44個の賞品が準備され、懇親会では、各賞が読みあげられる度に、あちこちのテーブルで歓声と拍手が上がっていました。今年の最高齢は昭和30年卒の7名様。皆様お元気です。また女性の参加はわずか1名でした。今回は是非女性の方の多数のご参加お待ちしております。

膳所高卒業寄贈図書「石鹿文庫」

著者名	書名・巻次(版次)
大久保衛 共著	●新・スポーツ医学
大久保衛 共著	●やさしいスポーツ医学の基礎知識
北脇洋子 著	●八十五歳の読書録
滋賀県膳所高等学校	●創立120周年記念誌
小鐘 幸雄 著	●ロケットエンジンと、宇宙への憧れ
鶴飼 武彦 著	●甲賀忍者考 鶴飼家関係文書を紐解く
河瀬 文太郎 著	●横光利一と大津

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。
 「石鹿文庫」は同窓生の著書を集めた文庫です。

終身会費の金額案については、27,000円(14年分)を基準とし、入会金3,000円はそのままといたします。ただし、円滑な移行が必要ため当面は、①従来の年会費2,000円、②5年前納10,000円、③終身会費27,000円(案)、からの選択制とする方向です。本年卒業の方にも同窓会入会説明に合わせて、会費納入方法について説明をおこない、H32年(2020年)からの運用を目的に、具体的な内容を本年総会で説明させていただきます。

終身会費制度の検討開始に伴い、従来の22歳までの会費納入の猶予制度は本年4月より廃止いたします。すでに前納いただいている方、本年4月以降に従来通り納入いただいた方が終身会費に変更される場合には、過渡期対応として減額措置も検討しております。

本年は通常通り会費納入をお願いいたします。同窓会では、本改定により会員の皆さまには会費納入を適切におこなっていただき、高齢化が進む中でより多くの情報発信のための広報紙の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化をおこない、同窓会活動を充実してまいります。

通信費の関係で、書面での通知は次回の広報紙「JUNGDO」となりますが、適時ホームページ等で報告してまいります。会費納入方法の変更が決定した時には、皆さまのご協力をお願いいたします。

膳所高等学校同窓会 総務部会/財務部会

平成30年度同窓会会務・会計報告・2019年度同窓会総会提出議案

◆平成30年度 同窓会会務報告

2018年(平成30年)

- 4月 20日 JUNGIDO第35号発行(26,761部発送)
- 26日 平成29年度同窓会会計監査(同窓会事務局)
- 26日 第1回役員会
- 5月 20日 創立120周年記念同窓会総会(びわ湖大津プリンスホテル) 151名参加
- 6月 16日 第4回会員交流会(わくわく関西空港見学と堺市探訪)30名参加
- 29日 第2回役員会(あみ定)
- 7月
- 8月
- 9月 8日 第3回役員会(同窓会事務局)
- 17日 第23回ゴルフコンペ(メイプルヒルズゴルフ倶楽部) 132名参加
- 10月 19日 会費納入再度のお願い
- 11月 9日 膳所高校創立120周年記念式典(びわ湖ホール)
- 12月 9日 第1回広報部会 JUNGIDO第36号編集会議

2019年(平成31年)

- 1月 12日 第2回広報部会 JUNGIDO第36号編集会議
- 19日 第3回広報部会 JUNGIDO第36号編集会議
- 26日 第4回広報部会 JUNGIDO第36号編集会議
- 2月 9日 第4回役員会(あみ定)

- 2月 23日 同窓会常任理事会(膳所高校大会議室)
- 24日 第5回広報部会 JUNGIDO第36号編集会議
- 28日 同窓会入会式
- 3月 1日 第67回膳所高校卒業式(平成30年度)
- 9日 第6回広報部会 JUNGIDO第36号編集会議
- 23日 平成30年度同窓会理事会(膳所高校大会議室)
- 23日 第7回広報部会 JUNGIDO第36号編集会議

平成30年度開催 周年・クラブOB会

- 5月 10日 昭和43年卒50周年記念同窓会(ピアンカ) 127名参加
- 6月 8日 昭和33年卒60周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 115名参加
- 8月 11日 昭和53年卒40周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 132名参加
- 11月 7日 昭和38年卒55周年記念同窓会(琵琶湖ホテル) 84名参加
- 24日 昭和63年卒30周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 118名参加
- 12月 2日 昭和48年卒45周年記念同窓会(ピアンカ) 104名参加
- 1月 2日 平成10年卒20周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 92名参加
- 2日 平成26年卒5周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 246名参加
- 3日 平成21年卒10周年記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 150名参加
- 14日 平成29年卒新成人記念同窓会(びわ湖大津プリンスホテル) 370名参加

◆平成30年度 同窓会会計中間報告(H30.4.1~H31.2.28)

一般会計 《収入の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
前年度繰越金	2,248,878	2,248,878	0	
前受会費(30年度分)	3,471,000	3,471,000	0	会費会計より振替
平成30年度会費	3,200,000	2,891,000	309,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,300,000	1,299,000	1,000	
特別(名簿)会計より繰入	2,000,000	2,000,000	0	
雑収入	30,000	85,399	△ 55,399	受取利息、タックシール代等
合計	12,249,878	11,995,277	254,601	

《支出の部》

項目	予算額	決算額	差額	備考
総会費	700,000	1,069,654	△369,654	
会議費	150,000	66,293	83,707	理事会、役員会
交際費	30,000	6,134	23,866	
通信費	700,000	382,824	317,176	総会、理事会はがき等
旅費交通費	50,000	28,300	21,700	役員会、同窓会出席他
支払手数料	230,000	160,906	69,094	会費納入、振込手数料
雑給与	1,400,000	1,173,400	226,600	
コンピューター関係費	25,000	-	25,000	メンテナンス
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	更新他
事務用品費	50,000	56,372	△ 6,372	コピー用紙他
備品・消耗品費	220,000	90,396	129,604	コピーチャージ料他
広報発行費	1,150,000	1,020,284	129,716	35号発行
広報発送費	2,000,000	2,002,900	△ 2,900	広報封入封緘、郵送料他
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	京大特別講座助成他
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	全国大会参加助成他
慶弔費	50,000	20,000	30,000	永年勤続祝、お悔み
周年同窓会祝い金	600,000	410,000	190,000	
各部会費	800,000	718,924	81,076	
広報部会費		14,558		
事業部会費		537,047		ゴルフコンペ会員交流会
総務部会費		167,319		会費納入依頼再発送代
予備費	1,930,078		1,930,078	
合計	12,249,878	9,371,187	2,878,691	

差引現在残高 2,624,090 (11,995,277-9,371,187)

特別会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	919,792	
利息	8	8/10, 2/8
合計	919,800	

《支出の部》 残高証明手数料 324 (4/2)

差引現在残高 919,476

◆同窓会財産目録(H31.2.28現在)

I 一般会計及び会費会計 合計

◇郵便局	◇滋賀銀行		
郵便振替 1口 532,526円	本店 普通預金 101,931円		
郵便貯金 1口 1,034,877円	膳所支店 普通預金 3,181,148円		
定期貯金 1口 6,022,000円			
◇関西アーバン銀行 びわこ営業部 普通預金 11,368円			
◇事務室現金 128,240円	計 11,012,090円		

II 特別会計

◇滋賀銀行 膳所支店 普通預金 919,476円	計 919,476円
--------------------------	------------

III 名簿会計

◇滋賀銀行 膳所支店 定期預金 0円	
膳所支店 普通預金 2,336,005円	計 2,336,005円

会費会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前受会費繰越金	8,896,000	29年迄の前受金
平成30年度会費	2,891,000	当年度分
前受会費	2,963,000	31年以降分の会費
合計	14,750,000	

《支出の部》

項目	金額	備考
平成30年度会費	2,891,000	当年度分の会費
平成30年度分前受会費	3,471,000	29年迄の前受金から
合計	6,362,000	

差引現在残高 8,388,000(14,750,000-6,362,000)

一般会計及び会費会計現在残高 11,012,090

一般会計現在残高 2,624,090 + 会費会計現在残高 8,388,000 = 11,012,090

名簿会計 《収入の部》

項目	金額	備考
前年度繰越金	2,204,818	
名簿売上金	2,131,500	
利息	11	8/10, 2/8
合計	4,336,329	

《支出の部》

項目	金額	備考
残高証明手数料	324	4/2
一般会計へ振替	2,000,000	5/18
合計	2,000,324	

差引現在残高 2,336,005

2019年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流・親睦をはじめ、教養の向上を図るとともに、同窓会活動の一環として母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

母校は、昨年5月に創立120周年を迎え、11月に記念式典が挙行されました。3月には選抜高等学校野球大会に出場し、120周年の年に花を添えました。

120周年が過ぎましたが、一つの通過点です。同窓会では、母校の更なる発展を願い、支援の継続強化をおこないます。こうしたことから、同窓会活動を多くの会員に周知する啓発活動や、継続・持続可能な同窓会を目指し、会費納入のあり方等について検討してまいります。

○総務部会

定例総会・理事会の開催や役員会等を必要に応じ開催します。母校との連携・協力を積極的にするとともに、各部会への協力、支援を行います。同窓会活動をすべての年齢層に浸透させる方策等を検討します。

○事業部会

総会時の講演会・懇親会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修旅行等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校の後援会活動、文化班・体育班活動の奨励に努めます。

○広報部会

母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行し、送付します。会員と母校とを繋ぐ、充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実を努めます。

○財務部会

健全な同窓会会計の確立のため、同窓会会費の納入に努めます。終身会費制度等、会費の納入方法について検討します。(学校・PTAとの協議)

事務局

会員との情報交流、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への依頼、地域・職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理

ホームページアドレス

<http://www.dousokai.link/zezekoukou>

メールアドレス

zeze-h-dousokai@poem.ocn.ne.jp

滋賀県立膳所高校同窓会

年会費納入のお願い

2019年度会費を同封の振替用紙にてご納入いただけますようお願いいたします。振替用紙が入っていない方は会費を前納されている方です。

会費は年額2,000円となっておりますが、5年(10,000円)、まとめてご納入いただければ幸いです。

〔納入機関〕 郵便局 01010-3-30378
(振替用紙は共通です。) 銀行 滋賀銀行 本店 普 913381
関西みらい銀行 びわこ営業部 普 335940

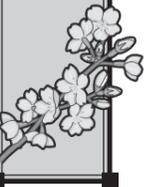


従来の22歳までの会費納入の猶予制度は本年4月より廃止します。新入会員から全員納入をお願いします。

※ご住所等に変更がある場合は振替用紙にその旨をご記入下さい。(総務部会)

ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

第67回卒業式



平成31年3月1日、晴れ渡った青空のもと、本校体育館において、平成最後となる「第67回卒業証書授与式」が行われました。普通科394名、理数科39名、計433名の生徒が、新たに膳所高校から旅立ちました。

式典は、大崎同窓会長をはじめ、東郷同窓会総務部会長、本校元校長の浅田先生、西岡先生、瀧田先生、草野先生、前校長の川上先生、父母教師の会の山村会長、澤副会長、また成田県議会議員、本校旧職員の本山先生を来賓に迎え、在校生（二年生全員、一年生各クラス代表2名）、教職員と共に、多くの保護者の出席のもと盛大に挙行されました。

小島秀樹校長は式辞の中で、「高い志を持ち、その達成に向けてあきらめることなく粘り強く生きてほしい」「偶然的出来事を大切にしてチャンスに変えてほしい」「これまでに積み上げてきた知識を自己の倫理観と融合させた知恵として活用し、21世紀社会の発展と人類の幸福に貢献できる人になってほしい」という三つを卒業生に期待することとして激励されました。

「卒業生の言葉」では、代表の中川満智さんが、膳所高校での生活を振り返り、これからの人生に向けて決意を述べました。その後、坂尾美久理さんの伴奏のもと卒業生全員で「旅立ちの日」を見事なハーモニーで合唱し、式場の皆さんの大きな拍手を受けながら、式場をあとにしました。

また、これに先立ち2月28日には、同窓会入会式が行われ、大崎会長の歓迎の言葉、そして新しい理事の紹介のあと学年代表理事の中田継太さんが、「入会の言葉」を述べ、卒業生には「同窓会パッセージ」が贈られました。

卒業生の今後の益々のご活躍を祈念いたします。

新入会員



「大切な仲間との三年間」

平成31年3月卒業

山本 優

期待と不安を胸に抱いて迎えた入学式からあっという間に時間は過ぎ、膳所高校での三年間が終わりました。振り返ってみると、高校生活から多くのことを学ぶことが出来たと実感しています。クラスメート、班活動の仲間と過ごす中で、主体性を持ち、自らの意志で行動していく重要性を知りました。何事においても、他に流されるので

班活動報告

2018年度 全国レベルの大会結果

- ヨット**
ユース世界選手権
レーザー4.7級 出場 須田英実子
全国高等学校総合体育大会
女子レーザー4級3位 須田英実子
男子コンバインド(団体) 6位
南野仁・小澤諒真・古澤章太郎・黒川漱石・岡崎竜也
国民体育大会
少年女子レーザー4級 5位 須田英実子
少年男子420級 6位 南野仁・小澤諒真
- ボート**
全国高等学校総合体育大会
男子ダブルスカル 準々決勝5位 井上諒哉・野呂寛
女子舵手付クワドルブル 準々決勝3位
山西美鈴・仲川遥菜・佐藤和泉・中野鈴梨・木村優花
全国高等学校選抜ボート大会
男子舵手付クワドルブル 5位 内田義太郎・立石温人・三苫周平・石井隆晴・吉田良平・高山颯太・杉山帆崇
女子舵手付クワドルブル 22位 渡邊湖都・竹岡咲穂・佐藤和泉・中野鈴梨・守屋凛・長谷川菜月・白川智梨
- 陸上**
全国高等学校総合体育大会
女子800m 準決勝進出・400m 出場 佐藤更彩
男子200m 出場 古川明世
国民体育大会
少年女子共通800m 出場 佐藤更彩
- 空手道**
全国高等学校総合体育大会
女子個人形 出場 北島沙佑紀
- テニス**
全国高等学校総合体育大会
女子シングルス 出場 嶺岸裕美
国民体育大会
少年女子団体 2回戦進出 嶺岸裕美
- かるた**
全国高等学校総合文化祭 出場
原あかり・宮野鈴奈・杉井誠也・隠岐和輝・井上雄貴・水口真里
第40回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会団体戦準優勝
原あかり・宮野鈴奈・隠岐和輝・井上雄貴・杉井誠也・山下未夢・堀貴起・重松そら
- 物理地学**
全国高等学校総合文化祭 出場
日本学生科学賞 全国入選3等
- 化学**
全国高等学校総合文化祭 出場 池野敦浩・福田一帆・吉田伊吹
- 合唱**
全国高等学校総合文化祭
合唱部門(合同) 出場 今北遥子・倉田茉莉香・近藤真帆・豊岡千怜・松本望実・宇都優花・丹羽奈々子
第12回声楽アンサンブルコンテスト全国大会 優良賞
今北遥子・倉田茉莉香・近藤真帆・豊岡千怜・松本望実・吉野果歩・宇都優花・丹羽奈々子
- 書道**
第49回近江神宮全国献書大会
滋賀県知事賞 吉田愛
滋賀県書道協会理事長賞 上田花
献書賞 館明日海・江川果穂
- 美術**
全国高等学校総合文化祭 出場 鶴来香穂
- 弁論**
全国高等学校総合文化祭 出場 大森鈴花
第23回全国中学校ディベート選手権 文化連盟賞
福田京司・中西祐希・安里光世・小利池祐希・深尾力丸・桑原直志
- 放送**
全国高等学校総合文化祭 出場 清水はづき
放送部門(朗読部門) 出場
- 囲碁(個人)**
全国高等学校総合文化祭 出場 竹田結子
- 日本生物学オリンピック2018本選 金賞 福田一帆**
第8回科学の甲子園 全国大会3位 加藤雅大・川崎聡・石田早侑梨
板橋隆生・杉本遥菜・吉田亮平・江原和希・中川翔太

はなく、よく考え、よく判断し、自分自身で決断することによって初めて目標は成し遂げられるのだと思います。また、個性を認め合い、互いを尊敬しあう大切さに気づかされました。人には得意不得意があるのは当然です。それぞれが個性を持ちよること、一人では到達できないより高いステージに進んでいけるのだと感じました。

高校生活の中で最も印象に残っている行事は湖風祭です。特に三年生の湖風祭は、先輩方に頼ることが出来た一・二年生のときとは全く異なるものでした。後輩を引っ張る立場として積極的に指揮をしなければなりません。主張をしすぎると集団としてまとまらなくなり、また、他人に任せしてしまうと物事が進まなくなることもあり、より良いものを作るにはどうすればいいのか試行錯誤

を重ねました。とても大変なことではありましたが、このようにみんなで悩み、解決して乗り越えることで、喜びと達成感を仲間と共有することが出来ました。

他にも日々の予習や校外学習、修学旅行など膳所高校での様々な経験を通して、私も少し成長できたと思います。私がおこなったような充実した高校生活を送ることが出来たのも一緒に苦楽を共にした仲間がいたからです。感謝もしきれません。

最後になりますが、このような素晴らしい高校生活を支えてくださった先生方、地域の皆様、家族の皆様、本当にありがとうございました。

編集後記

◎JUNGI DOを発行してから早や36号となりました。年に何度か編集部員が集まると事務室には職員のようにいつも同窓会のことを一生懸命にやっていた今市さんが目に浮かびます。残念ながら昨年の八月に他界されたことを知り同窓会にとって大打撃となりました。同窓会の過去のことと最近のこととを聞いても的確に伝えて下さる方でした。本紙の編集にも多大なアドバイスをいただきました。今市さんの功績に感謝し今後の同窓会を見守っていただきたいと思います。

◎今年度の常任理事会・理事会では、会費納入方法の変更について多くのご意見・ご助言をありがとうございました。この一年をかけて方向を決定していきます。総会等で議論いただければ幸いです。

◎少しでも読みやすいようにとJUNGI DOの紙面を大きくしました。今後ともよろしく願っています。

- 上野滋子(膳2)・浅田幸作(膳6)・松村暢江(膳10)
東郷重明(膳15)・卯田重子(膳16)・藤原陽子(膳16)
新川均(膳16)・護法良憲(膳19)・岡澤則子(膳26)
雲 恭子(膳33)・増井詠子(膳36)
加藤徳彦(総務)・村瀬 誠(総務)

サクラサク！ 主要大学合格者数

（主な国立大学）		（主な私立大学）	
旭川医大	1名	徳島大	2名
帯広畜産大	1名	愛媛大	2名
北海道大	5名	九州大	2名
東北大	3名	宮崎大	1名
筑波大	3名	鹿児島大	1名
千葉大	3名	千葉保健医療大	1名
東京海洋大	1名	長野県看護大	1名
お茶の水女子大	1名	名古屋市立大	5名
電気通信大	1名	滋賀県立大	4名
東京大	6名	京都府立大	5名
東京外大	1名	京都府立医大	4名
東京農工大	1名	大阪府立大	7名
横浜国立大	1名	兵庫県立大	11名
富山大	2名	神戸市外大	2名
金沢大	5名	奈良県立医大	3名
福井大	5名	福山市立大	1名
信州大	3名	高知県立大	1名
岐阜大	3名	関西医大	37名
静岡大	3名	関西外大	2名
名古屋大	4名	近畿大	33名
名古屋工大	2名	関西学院大	16名
三重大	3名	慶応大	1名
滋賀大	6名	国際基督教大	1名
滋賀医大	13名	国士館大	2名
京都大	50名	芝浦工大	2名
京都教育大	4名	中央大	7名
京都工芸繊維大	17名	東京理大	10名
大阪大	45名	東洋大	3名
大阪教育大	1名	日本獣医生命科学大	1名
神戸大	23名	法政大	5名
和歌山大	3名	明治大	4名
奈良女子大	3名	立教大	4名
鳥取大	2名	早稲田大	22名
島根大	1名	麻布大	1名
岡山大	2名	金沢医大	1名
広島大	6名	愛知医大	3名
山口大	1名	豊田工大	3名
		藤田医大	2名
			1名

（その他）
防衛医科大学校 4名
防衛医科大学校 3名
大阪モット学園 2名
滋賀県立健康専門学校 1名

* 3月28日までの判明分
* 過年度卒業生を含む